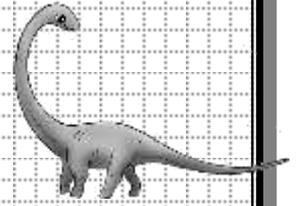


2012年1月

地質 — No. 4

けんぱくものしりシート

# アンモナイト



大きなカタツムリ？ いいえ違います。これはアンモナイトという、大昔に生きていた生物の化石です。アンモナイトはイカやタコの仲間で、海の中で生活していました。まずは化石をじっくり観察してみましょう。

## これがアンモナイトだ！

へそ [中央のへこみ]

りゅうこつ  
**竜骨**

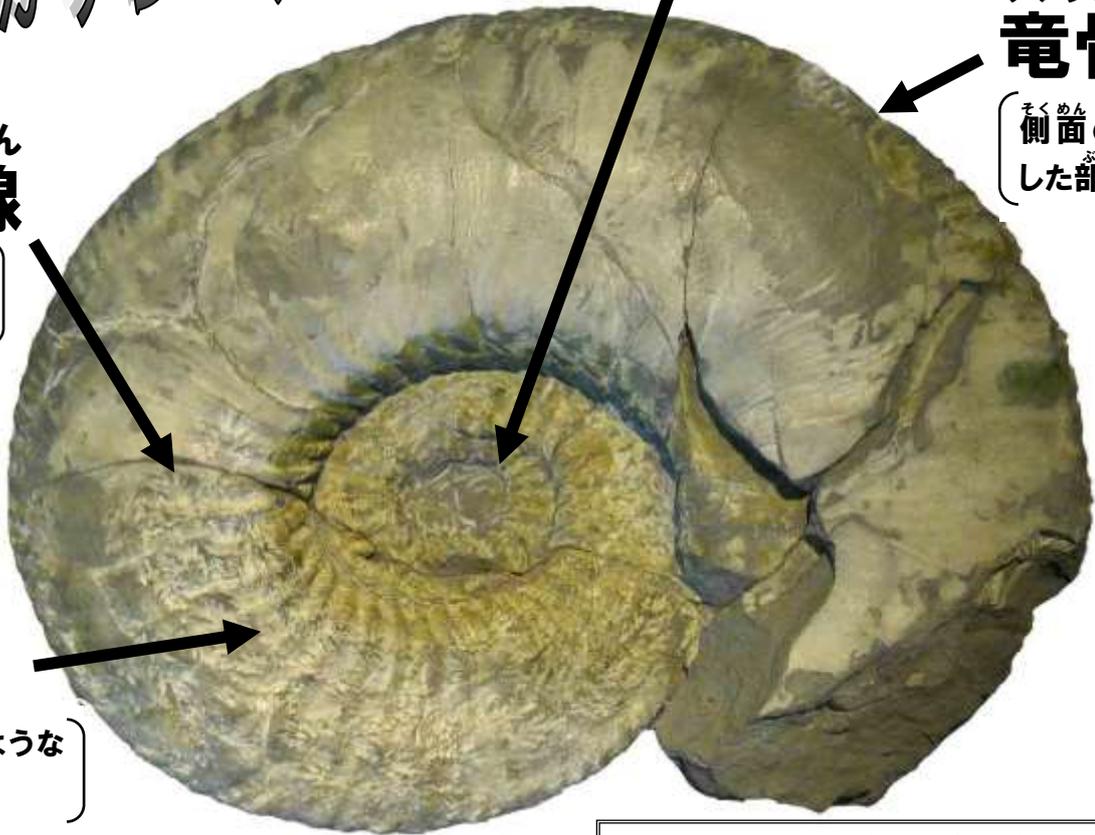
[側面のひらひらした部分]

ほうごうせん  
**缝合線**

[表面に見えるもよう]

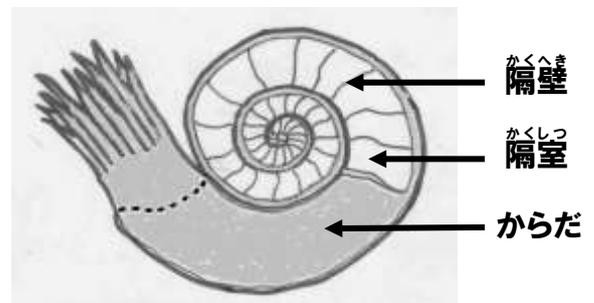
ろく  
**肋**

[すじのようなおうとつ]

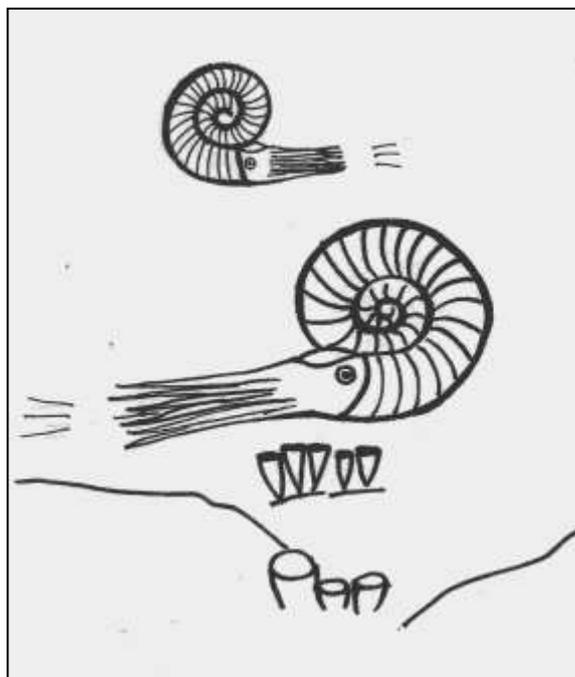


アンモナイト (産出地: 田野畑村島ノ越)

かたい殻の内側はいくつもの部屋 (隔壁) にわかれており、やわらかいからだは最後の部屋に入っていました。



アンモナイトはシルル紀（約4億4400万  
 年前～4億1600万年前）に地球上に現れ、  
 恐竜と同じ時期に海の中で栄えました。  
 白亜紀の終わり頃（約6550万年前）、地球  
 に巨大な隕石が落下したため気候や自然  
 の様子が大きく変わり、恐竜もアンモナ  
 イトも姿を消してしまいました。アンモ  
 ナイトの化石は世界中でたくさん見つか  
 っていて、いろいろな形や模様を持った  
 ものがいたことがわかっています。



泳ぐアンモナイト（想像図）

アンモナイトのように、生きていた時代が特定できる特別な化石は「示準  
 化石」といって、化石が入っていた地層の古さを調べるのに役立ちます。

岩手県の主な

アンモナイト産出地域

久慈市・宮古市などの  
 沿岸部

南部北上山地

実は岩手県は、アンモナイトの化石がよく出  
 る県として知られています。沿岸部や南部北上  
 山地にはアンモナイトが生きていた時代の地  
 層がたくさん残っているためです。岩手県立博  
 物館では、県内で見つかったアンモナイト化石  
 をいくつか展示しています。見比べて、お気に  
 入りのひとつを探してみましょう。

参考にした本 『学生版 日本古生物図鑑』 北隆館 1999年

『ニューワイド学研の図鑑 鉱物・岩石・化石』 学研 2005年 他

来月（2月）の  
 けんぱくものしりシートは  
 考古-4だよ！  
 おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
 Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>